

神戸にも素晴らしい一本桜がありました 神戸桜 Walk2012

神戸の基礎を築いた平清盛の福原京を見下ろす一本桜

奥平野貯水池・水の科学館「奥平野 舞桜」 2012. 4. 10.





神戸は今 神戸の基礎を築いた 平清盛ブーム
その清盛の福原京があった平野の山裾の丘の上に
平野の街を見下ろす一本桜があると聞く。
神戸の一本桜「奥平野舞桜」を訪ねました。
また、雪御所のあった天王川沿いや祇園神社など
福原京ゆかりの地をwalk 2012.4.10.



「神戸 奥平野鼻桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



「神戸 奥平野鼻桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



「神戸 奥平野鼻桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



神戸 福原京 平野 雪御所町を流れる天王川堤の桜 2012. 4. 10.

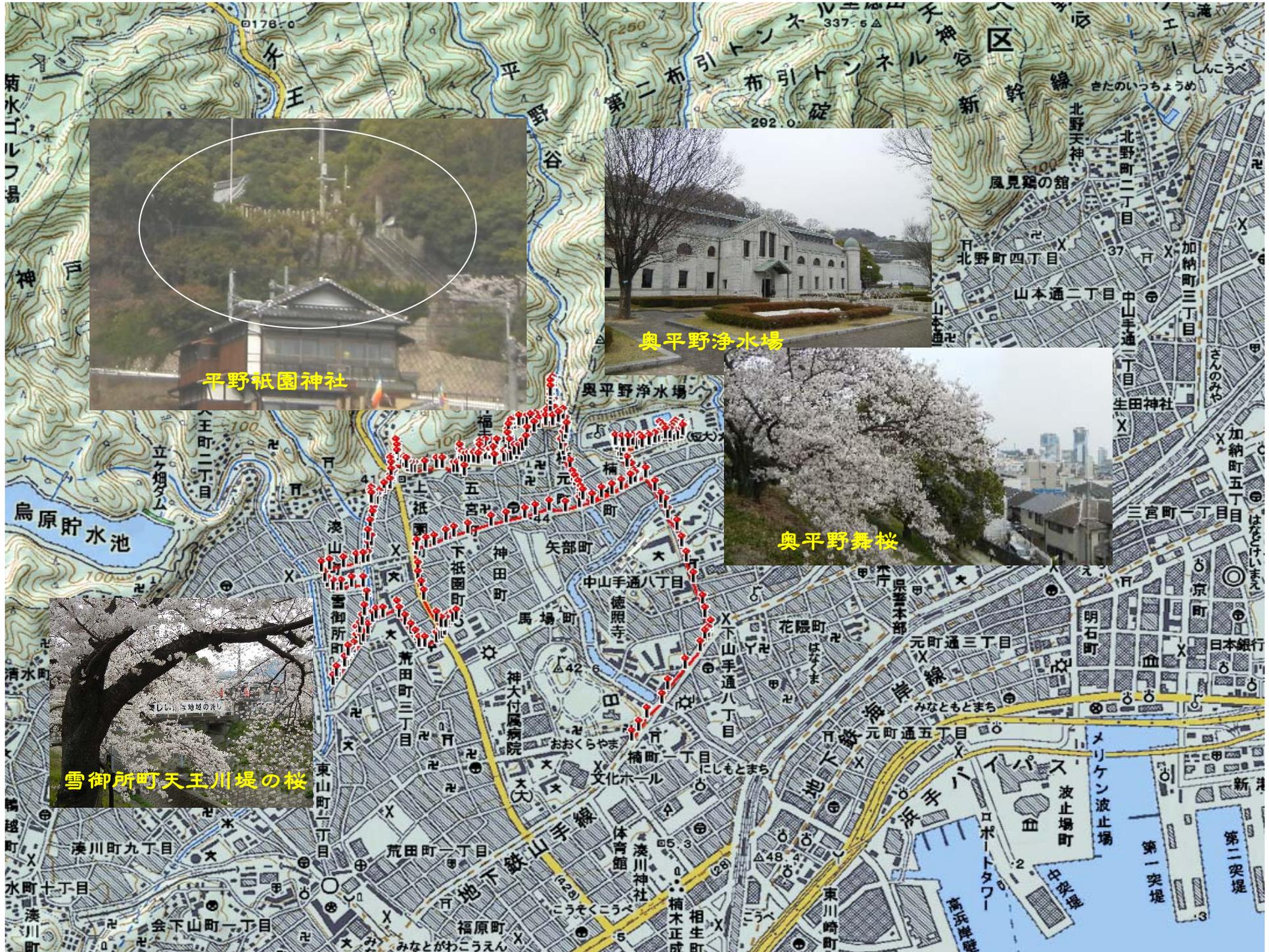


神戸 福原京 平野 雪御所町を流れる天王川堤の桜 2012. 4. 10.



かつての福原京 平野の町並みを見下ろす山腹に建つ平野紙園神社 2012.4.10.

この春 清盛の都 福原京が眠る平野の街は桜の花に包まれていました 2012. 4. 10.



平野祇園神社



奥平野浄水場



奥平野舞桜



雪御所町天王川堤の桜

清盛さんの夢の跡 平野
ひらの

福原京

ふくはらきょう 平野商店街(振)
ゆるキャラきよまん

須磨 夢野
Suma Yumeno

神戸駅 2
Kobe Sta.

三田
Sanda

ハーバーランド
Harbor Land

有馬
Arima

平清盛ゆかりの郷

平野

Welcome to Hirano

ゆるキャラ きよまん

平野商店街振興協会

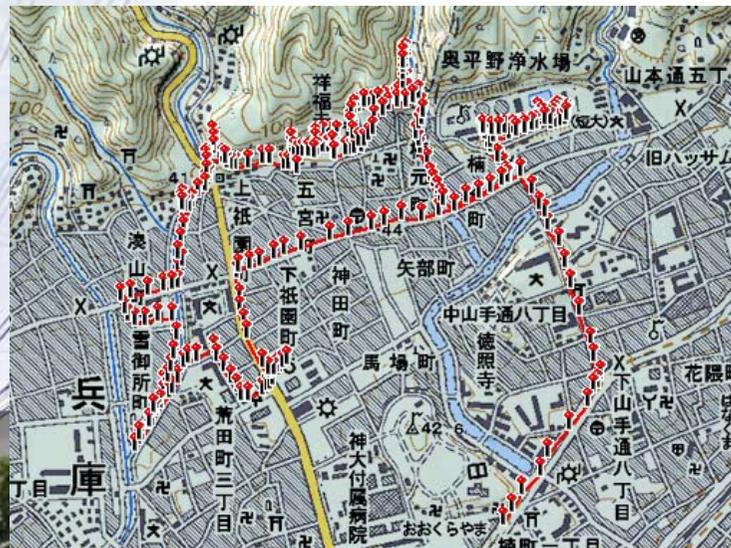
上祇園町自治会25周年記念

平野散歩道

山麓リボンの道
 ●数字(上祇園街)



平野商店街 平野交差点 2012. 4. 10



神戸市街地の山すそを平野の交差点から東へ北野まで続く山本通りを約800mほど東へ歩いた左手 楠谷町の山裾の丘の上に神戸水道の浄水・配水の要 奥平野浄水場・水の科学館がある。神戸の市民に親しまれている桜の名所でもある。

東西に広がる諸施設・建物の南側 市街地を一望できる広場の南端の垣に沿って並ぶ桜の中に ひととき大きく姿の美しい桜「奥平野の舞桜」がある。

奥平野浄水場入り口周辺



おくひらのまいざくら

奥平野舞桜

桜の種類：ソメイヨシノ
 木の年齢：約60年
 高さ：9.50メートル
 枝張り：東西 18.10メートル
 南北 18.20メートル
 根の周り：3.12メートル

平成21年3月
 神戸市水道局



桜並木が美しい奥平野浄水場入り口の坂道 2012. 4. 10.



桜並木が美しい奥平野浄水場入り口の坂道 2012. 4. 10.



桜並木が美しい奥平野浄水場入り口の坂道 2012. 4. 10.



桜並木が美しい奥平野浄水場入口 2012. 4. 10.



奥平野浄水場内にある水の科学館 2012. 4. 10.



奥平野浄水場内にある水の科学館 2012. 4. 10.



奥平野浄水場内にある水の科学館 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜に出会いました 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 斜面の下を歩く人が見える 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 桜の向こうに神戸の町並みを遠望 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 正面 桜の向こうに神戸の町並みを遠望 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 桜の向こうに神戸の町並みを遠望 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 2012. 4. 10.



奥平野貯水池より 兵庫の湊方面の遠望 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 斜面の下から見上げる 実に美しいバランスの取れた姿 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 斜面の下から見上げる 2012. 4. 10.



奥平野 舞桜 斜面の下から見上げる 2012. 4. 10.



奥平野浄水場の上方の山から眺める 2012. 4. 10.

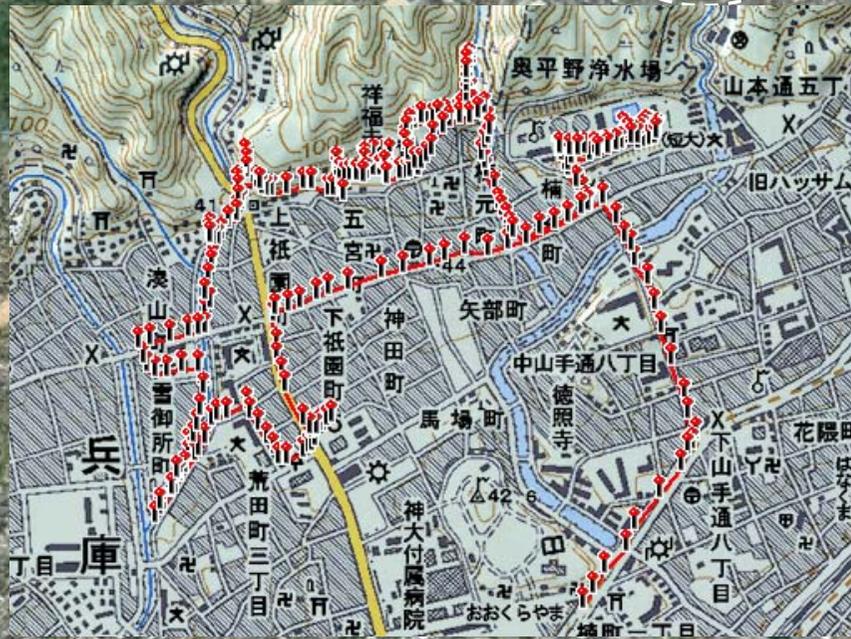


奥平野浄水場の入り口の向こうに神戸の町並み 2012. 4. 10.



奥平野浄水場の入口へ通じる桜並木 2012. 4. 10.

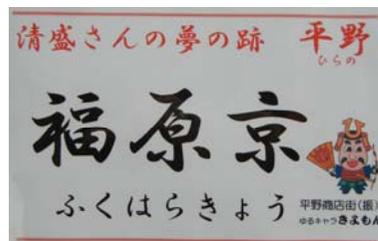
平清盛の都 福原京が眠る
平野界隈を歩く 2012. 4. 10.



【福原京】ふくはらきょう

平安時代末のわずかな期間、現在の神戸市兵庫区に置かれていた都。

平清盛は、1180年6月にこの地へ遷都したが、実質的な都の造営はおこなわれず、同年11月に再び京都へ戻った。1183年に平氏が都落ちした際、福原は焼き払われた。



雪見の御所石碑

平野の交差点から西へ200mほど、商店が並ぶ通りを歩くと湊山小学校がある。その一角に、「雪の御所」という石碑が建つ。かつてこの付近では瓦などが見つかっていて、清盛が住んだ雪の御所があった場所だと言われている。

荒田八幡神社



神戸大学病院の正面あたりで有馬道から西へ折れると、荒田八幡神社がある。神社の境内だけが、まわりの家々より3mばかり高く、周囲は石垣に囲まれている。ここが平清盛の異母弟、平頼盛の山荘があったとされる場所である。神社の横は公園になっていて、山荘をうかがわせるものは何もないけれど、かつてはこのあたりで笠懸流鏝馬がおこなわれたと記され、相当広い屋敷であったことだろう。

平野祇園神社



荒田八幡神社から有馬道を北へたどると、間もなく六甲山の山すそである。ここが平野の交差点で、そこからさらに登ったところに、平野祇園神社がある。社伝によるとこの神社は、9世紀に姫路の広峰神社から、京都の八坂神社へ分霊する途中、その神輿が泊まった場所に建てられたという。

急な階段を上り詰めた境内からは、尾根の間に切り取られた町並みと、その先の海が見える。平清盛は大和田泊を修築する前、この神社の裏山にあった潮音山上伽寺で、潮騒を聞きながら構想を練ったという。

清盛さんの夢の跡 平野
ひらの
福原京
ふくはらきょう 平野商店街(振)
ゆるキャラ きまもん



平野商店街 平野交差点の東側 2012. 4. 10
平野の商店街には清盛の旗が飾り付けられている



平野商店街 平野交差点 2012. 4. 10.
平野の商店街には清盛の旗が飾り付けられている



有馬街道 平野交差点 2012. 4. 10
この周辺一体に平家一門の邸宅が立ち並んでいたという



平野商店街 平野交差点の西 天王川にかかる橋 2012. 4. 10



有馬街道 平野交差点から南にさがた地点 2012. 4. 10

祇園遺跡第14次調査

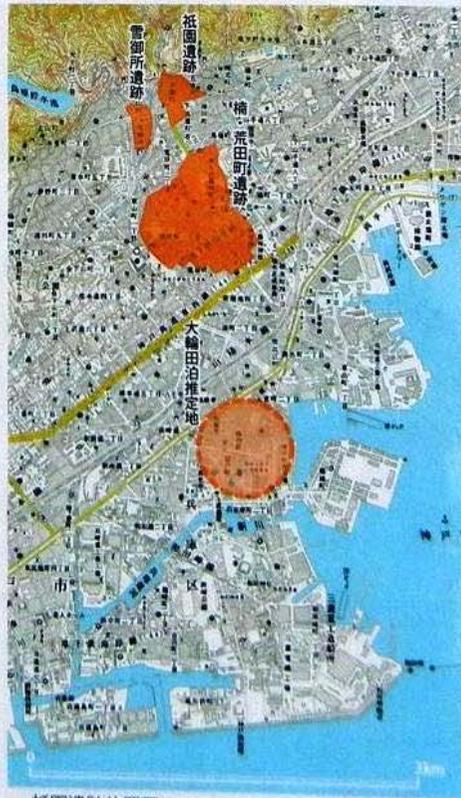
20111103
祇園遺跡現地説明会資料
神戸市教育委員会 文化財課

はじめに

今から840年ほど前の治承4(1180)年、『山槐記』という貴族の日記に、平清盛について「近年摂州平野の勝地を占め、遁世退老の幽居となす」と書かれています。

摂州平野とは、摂津国八郡平野、現在の神戸市兵庫区上祇園町周辺のことをさしていると考えられます。清盛はこの「平野」に築いた屋敷から、都の政治への指令をだす一方、すぐ南に位置する宋(中国)との貿易の拠点である大輪田泊の経営に力を注いだとされています。

このように生み出された都市は、やがて清盛による遷都、新京「福原京」(和田京)建設計画へと続いていきます。



祇園遺跡位置図

祇園遺跡は、この「平野」の地にひろがる遺跡で、まさに「福原京」の中枢部にあった場所といえます。

祇園遺跡について

祇園遺跡は、六甲山系から注ぎ込む天王谷川によって形成された扇状地の頂部に位置しています。

平成6年度に実施した第2次調査と、その後の第5次調査において、12世紀後半から末頃にかけの貴族の邸宅に伴うと推定される庭園遺構が発見され、注目を集めました。出土した多量の土器や瓦は、京都で使われていたものも含まれていました。さらに、日宋貿易を物語る陶磁器も見つかっています。

祇園遺跡の南に拡がる楠・荒田町遺跡では、神戸大学医学部附属病院構内において、平安時代後半の大規模な二重壕が見つかっており、これも平家関連の遺構と考えられています。さらに同時代の建物や溝の跡なども確認しています。



第14次調査地点位置図 (1/5,000)



【参考】 福原京発掘

丘陵裾のこのあたり一帯に、平家に関する建物群が広がっていたと考えられます。

調査概要

発掘調査によって、弥生時代中・後期の竪穴建物、平安時代後期の掘立柱建物およびこれに伴うと考えられる柵列、井戸、溝などが見つかりました。

平安時代の建物群は、柱を直接地面に埋め込む構造で、掘立柱建物と呼んでいます。調査区内で、3棟を確認しました。

建物1の規模は、南北5間(10.7m)、東西3間(6.0m)以上です。その西側に並ぶ建物2は、南北4間(8.6m)、東西5間(11.8m)で東側に半間の庇(ひさし)もしくは縁(えん)が付きます。その北側の建物3は南北3間(5.8m)、東西4間(8.4m)以上です。

柵列は、南北方向の11.1mで、建物1と建物2の間を区切っています。

これらの建物と柵列は、おそらく同時に存在していたものと考えられます。

井戸は2基見つかっており、ともに上部は壊されて井戸枠などが抜きとられています。井戸1の掘形は直径約3mほどで、廃棄するときの祭祀に使用した大量の土器類が出土しました。それらの多くは土師器の皿や瓦器の椀・皿ですが、白磁の碗や合子、烏帽子の破片なども含まれていました。

また、井戸2の掘形は直径2mほどで、こちらは大きな石を大量に入れて埋め戻しています。焼けた石材や、建物の礎石も含まれています。

建物2と3は、ともに井戸を埋め立てた上に

建てられています。

調査区が一番南の端でみつかった区画溝1は幅0.8~1.0m、深さ0.4mほどで、断面形がU字形で、珍しい白磁の水注や土師器の皿、須恵器の甕、瓦器の椀などが出土しました。この溝は、邸宅内の区画溝と考えられます。

弥生時代中・後期の竪穴建物は、現在5棟を確認しています。なかでも調査区の南端にある竪穴建物1は直径8mと比較的大型で、炭化材や焼土がみられることから、火災によって焼失したものと考えられます。

今回の調査成果

今回の調査で見つかった平安時代後期の遺構は、12世紀後半から12世紀末に属するもので、福原遷都前後の時期に限定されています。また遺構はすべて一軒の邸宅に伴うものと考えられます。

建物建設以前の井戸内から出土した土器などの内容を見ると、この地域の有力者のものであったと考えられます。その井戸を埋めて建てられた建物や溝は、方位をそろえています。

このことから、当地域が12世紀後半に都市計画がなされ、さらに北120mで見つかった園池や遺物との関係から、今回見つかった邸宅は、平家に関する貴族層に仕える地元の有力者のものであった可能性が高いと言えます。

今回の発掘調査および現地説明会の開催にあたっては、株式会社TSKと株式会社島田組の協力を得ました。

祇園遺跡 14次調査

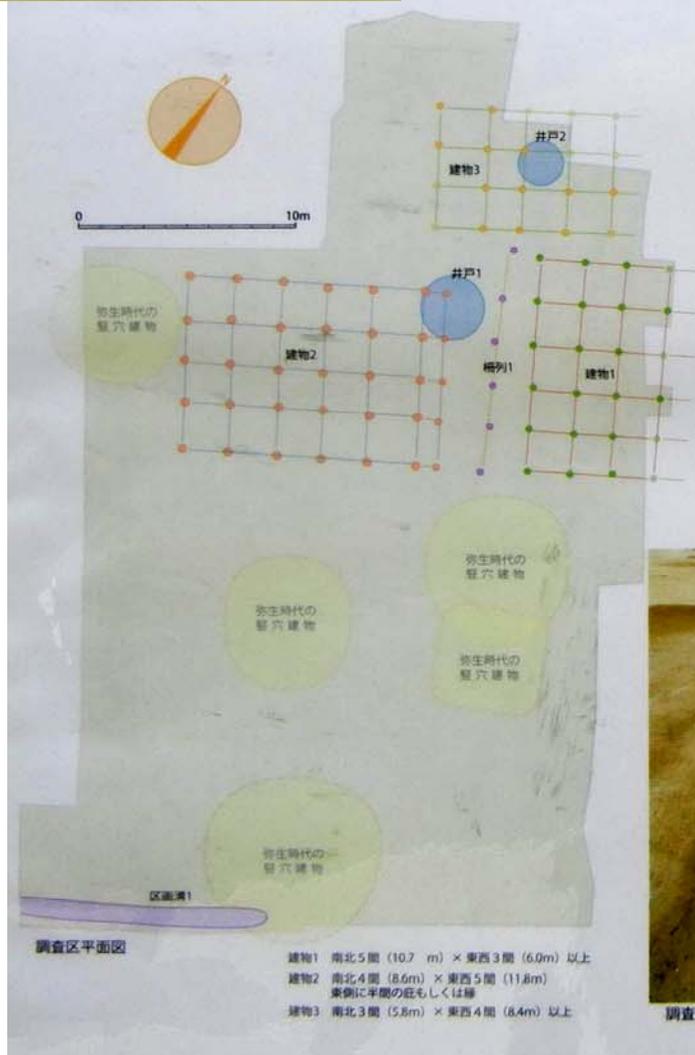
昨年、平野商店街に隣接する商業施設建設予定地の平安時代の地層から、平家に関する、地元の有力者のものである可能性が高い、邸宅の遺構などが発見されました。



祇園遺跡 神戸市兵庫区の平野交差点付近に広がる遺跡。平野の交差点付近は、ちょうど清盛の時代の遺跡。1993年に発掘調査がおこなわれ、貴族の庭園と考えられる石組みの池跡が見つかった。周辺からは大量の土器をはじめ、瓦、中国産陶磁器類も出土したが、建物跡はまだ確認されていない。福原京の一部を形成していた、平氏一門の邸宅などと関連が深いと思われる。

祇園遺跡第14次調査

20111103
祇園遺跡現地説明会資料
神戸市教育委員会 文化財課



空から見た調査区



井戸を廃棄する際の祭祀に使用した土器



区画溝から出土した陶磁器 (白く長いのは水注の口)



調査区南端の区画溝 (西から)



発掘調査区の全景 (北から)

大輪田泊跡 (神戸市兵庫区)

清盛の港一瞬の都

わずか半年間たったけれど、神戸は日本の首都になったことがある。大河ドラマで活躍中の平清盛による平安時代末期の福祇京遷都(1181年)だ。このとき都が置かれたのが、今の神戸市兵庫区辺り。なかでもJR兵庫駅から中央卸売市場にかけての一角は、海外貿易に目を向けた清盛が大改修した古代からの港、「大輪田泊」があったと考えられている場所だ。あちこちに残るゆかりの史跡を訪ねて、清盛ブームに沸く街を歩いた。(坂本悠)



まず訪れたのは天台宗の古刹・能福寺。お目星境内にある清盛の墓所「平相國廟」だ。平家物語によると、京都で病死した清盛の遺骨輪田泊付近に葬られたという。その場所は今も残っていないが、ここは有力な候補地の一つだ。でも、今の廟が建てられたのは昭和の時代。豊井世職(74)は「清盛の下で栄えたこの寺は、平家改葬焼き払われ、墓も失われた。それを先代住職が、さんがお気の毒や」と再建したんです」と話す。一般に暴君イメージの強い清盛だが、神戸ではから英雄として愛されてきた。理由は彼が手がけ、湾工事。経ヶ島という人工島を築いて波を防ぎ、地を国際貿易港に育てあげた彼を「神戸の礎を築大恩人」と呼ぶ住民は多い。戦後、ポトアイニや六甲アイランドを次々造成した神戸型都市開発源流をたどれば経ヶ島にいっきつ、というわけだ。能福寺から南へ約400m。ここにも人々の温を物語る史跡がある。高さ8・5mの巨大な石塚盛塚。市教委によると、建立されたのは清盛が100年余りたったからだが、江戸時代には「おも彼の墓だと信仰されるようになっていた」といふ市立博物館の岡屋真一学芸員(68)は言う。「清盛の墓じゃなかった石塚がいつか清盛塚だ、今日まで大切に守られてきた。その経緯をば、彼がどれほど慕われてきたかがわかるでし」

【参考】大輪田泊

朝日新聞
2012. 4. 24. 朝刊

記者ナビ 伝説埋もれる街

能福寺の周辺は、清盛が大輪田泊の改修工事の成功を祈願した和神神社、経ヶ島の入柱を供養した来迎寺……と、まばらに清盛の史跡の宝庫。近くの新川運河でも、戦後実用な、古代の港湾施設だった可能性がある巨石群も見つかっている。ただ残念なのは、「これが清盛時代の大輪田泊だ」と断言できる考古学上の証拠は、まだ発見されておらず。

兵庫大仏(左奥)で有名な能福寺にある清盛の墓所「国廟」。800回忌にあたる1080年に「再建」水

兵庫区文化センター

能福寺の周辺は、清盛が大輪田泊の改修工事の成功を祈願した和神神社、経ヶ島の入柱を供養した来迎寺……と、まばらに清盛の史跡の宝庫。近くの新川運河でも、戦後実用な、古代の港湾施設だった可能性がある巨石群も見つかっている。ただ残念なのは、「これが清盛時代の大輪田泊だ」と断言できる考古学上の証拠は、まだ発見されておらず。

2012/4/11 12



© 2012 ZENRIN

Google earth

平清盛の邸宅 雪御所

平野交差点の南西側 天王川と石井川の合流点までの逆三角地形の場所は平清盛の邸宅 雪御所があった地点で、雪の御所町の地名が残る。

現在 天王川土手には桜のトンネルが続く桜の名所





雪御所公園周辺 天王川沿いの桜 2012. 4. 10.



雪御所公園周辺 天王川沿いの桜 2012. 4. 10.



雪御所公園周辺 天王川沿いの桜 2012. 4. 10.



雪御所公園周辺 天王川沿いの桜 2012. 4. 10.



湊山温泉横を流れ下る天王川の上流側の山の中腹に平野祇園神社が見える 2012. 4. 10.



平野祇園神社 2012. 4. 10.

平清盛が大輪田泊の改修(波浪を避けるための人工島経ヶ島築造)に取り掛かった際この裏山にあった海潮山上迦寺で計画を練ったと言い伝えられている。



平野祇園神社と平清盛

一一六七年(仁安二年)、平清盛が太政大臣を辞し、病のため出家して、十年以上に亘り居住された地が祇園神社周辺の「平野」です。その間、大輪田泊の修築、おわたのとり経ヶ島の築造、さよかじま対宋貿易等の大事業を行いました。

一一八〇年(治承四年)には、わずか六ヶ月の短期間でしたが、都を京都から福原へ遷しました。

都が置かれたこの広大壮麗な地は、栄華を誇った平家一門の別邸が点在し、情緒に富んだ街並みだったことが推察されます。清盛公は、豊かな国造りを目指し、日宋貿易の拠点であった大輪田泊に、波浪を避ける目的の人工島「経ヶ島」を築造する際、祇園神社の裏山にあったとされる潮音山上迦寺(しやうおんさんじょうがら)(現在は廃寺)で、海潮の響きを聞きながら、その計画を練ったと言い伝えられています。

市街地から港まで一望できる当社の境内から、当時の清盛公と同じ想いに馳せてみては如何でしょう。

祇園神社



平治十一年





平野祇園神社 2012. 4. 10.

平清盛が大輪田泊の改修(波浪を避けるための人工島経ヶ島築造)に取り掛かった際
この裏山にあった海潮山上迦寺で計画を練ったと言われている。



平野祇園神社から眺める平野の市街地 2012. 4. 10.



神社の横を登ってゆく有馬街道



祇園神社の石段





平野祇園神社から眺める平野の市街地 2012. 4. 10.



平野の丘の上 山腹沿いの集落の狭い道を東へ歩くと大きな禅寺「祥福寺」の前へ出る

平野の町並み そして 奥平野 舞桜 を上から眺めたくて、祇園神社の横から東へ山腹に沿って東へ集落の中を歩きました。神戸は山が急峻なため、海から山へ幾筋も道が伸びるが、東西の道はほとんど狭いジグザグの生活道路のみで谷に出会うと山に入ったり、海側へ下ったり、ずたずた。そんな昔からの生活道路が祇園神社の横から、山腹の中腹を東の北野に向かって延びていました。そんな静寂な道の途中に大きな禅寺 祥福寺がありました

平野の山際を街を眺めながら歩く 2012. 4. 10.





奥平野浄水場の直ぐ横まで来ましたが、谷を越えられず 2012. 4. 10.



神戸にも素晴らしい一本桜がありました 神戸桜 Walk2012

この春 清盛の都 福原京が眠る平野の街は桜の花に包まれていました 【おわり】



「神戸 奥平野舞桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



「神戸 奥平野舞桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



「神戸 奥平野舞桜」 奥平野貯水池・水の科学館 2012. 4. 10.



神戸 福原京 平野 雪御所町を流れる天王川堤の桜 2012. 4. 10.



神戸 福原京 平野 雪御所町を流れる天王川堤の桜 2012. 4. 10.



かつての福原京 平野の町並みを見下ろす山腹に建つ平野紙園神社 2012. 4. 10.